

第26号 令和4年4月発行



き し く
ki shi ku



まちづくり新聞

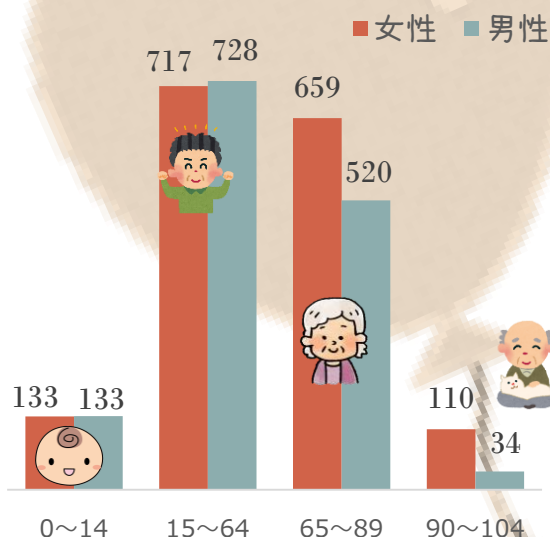
INDEX

- 1p 人口動態ほか・・
- 2p 岐宿まちづくり協議会活動報告
- 3p シリーズ「岐宿町ってどんなまち？」
山内の米はなぜ美味しいの！？
- 4p みんなのページ
～地域のなんでも掲示板～

●年代別人口グラフ (R 4.3月1日現在)

- 総人口：3,034人 (-19)
男性/1,415人 (-5) 女性/1,619人 (-14)
- 世帯数：1,635世帯 (-10世帯)
- 高齢化率：43.61%

* 高齢化率とは・・
65歳以上の高齢者人口が
総人口に占める割合のこと。



／支援員の方言講座／



みんなで使えば標準語！
わっかもんも使ってみよう！

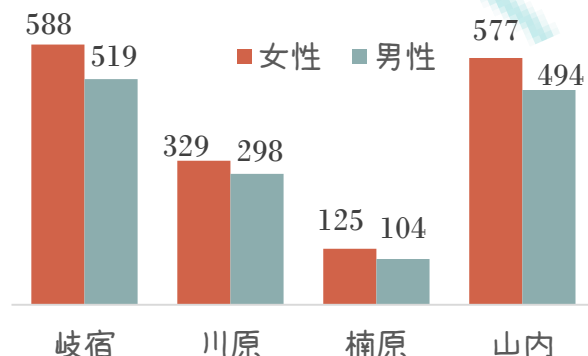
●今回は「てれんぱらん」です。

難易度☆☆☆☆

- ・意味／ふらふら、ぶらぶら、のりりくろり
- ・使い方／そこらへんばてれんぱらんしとくけん
ゆっくつよかぞ～
- ・訳／そのへんふらふらしとくから、
急がなくていいからね～

●地区別人口グラフ

* 山内地区には「きじの里」57世帯57名が含まれています





●岐宿まちづくり協議会●

～活動報告～



岐宿まちづくり協議会で12月・1月、また年間を通し実施した事業をご紹介します。

●老人介護施設慰問事業

岐宿中学校、文化部の生徒が主体となり、冬のクリスマスシーズンに向けて、老人介護施設での合唱や合奏、レクリエーションなどの企画や制作活動に取り組みました。交流会を企画、計画するにあたっての課題や手立てなどを考え、高齢者の方々にも分かりやすく取り組みやすい内容を真剣に考え、本番に向けて頑張りました。令和3年12月18日(土)、岐宿園を訪問し、ゲームを楽しんだり季節に合った歌などを演奏。入所者さんにクリスマス気分を味わっていただくとともに、生徒たちも、思いやりの気持ちや人の役に立とうとする自己有用感を育むことができました。



●一人一鉢運動

五島南高等学校が主体となり、地域の特性を生かしながら住民と連携し、普段顔を合わせることの少ない人たちが触れ合う空間を作ることを目的として行われた事業です。生徒が地域や社会とのつながりを実感する貴重な機会であり、ふるさとの愛着を育む機会ともなりました。

●11月4日：花の苗植えと毎日の水やり。

●11月24日：岐宿支所、三井楽支所、福江港ターミナルにプランター30鉢を配布。

●2月18日：白百合愛児園、きじの里、みみらくの里へプランター40鉢を配布。



●地域を花で明るくしよう

保育園付近の道路を花で飾ることで通行人や車両の方々の癒しの場とすることで、職場や家族のもとに温かい気持ちで落ち着けるよう期待して行われた事業です。職員が園児と一緒に苗を植えたり、水かけをしたりと、人が喜ぶことを進んで行う心が育つよう願いながら活動しました。プランターを置く場所にゴミを捨てる方も多くその処理も大変だったそうですので、皆さんゴミを捨てないようお願いいたします。



●魚津ヶ崎花づくり事業

地域住民やボランティア団体、行政が協働で魚津ヶ崎公園の花整備を行い、四季折々の花(菜の花・あじさい・ひまわり・コスモス)を植栽管理。各花の開花時期に合わせた花まつりやグラウンドゴルフ大会を開催し、島内外の来場者を増加、地場産業の消費拡大と地域振興を目的に行なわれた事業。今年度もコロナの影響でイベントの開催はできませんでしたが、年間を通し美しい花を咲かせ、コスモスのライトアップには大勢の来場者が訪れました。



山内の米はなぜ美味しいの！？

シリーズ「岐宿町ってどんなまち？」

～知っているようで知らない自分の町のこと～

久々の登場！
まちづくり君



令和4年1月28日、五島列島(下五島エリア)ジオパークに認定された五島市。ここ岐宿町にもジオパークの見どころがたくさんあります。今回はその見どころのひとつ、「山内盆地」で美味しいお米が採れる理由についてご紹介したいと思います！

平坦で広大な田畑がひろがる「山内盆地」。写真で見るとその広さがよく分かりますね。広さはおよそ500万平方メートル。東京ドーム100個分に相当する広さだそうです。そしてその半分の250万平方メートルで、お米の栽培が行われていて、その量は、大人一人が1年間に食べる量で換算すると、約2万人分採れるそうですよ。五島市の人口の約6割分がまかなえる計算になることから、どれだけ広いかが想像できると思います。そんな山内盆地ですが、その昔、湖だった時期があるって知っていましたか？そのことが、山内盆地で美味しいお米が採れることに大きく関わっているのです！

～さかのぼること今から90万年くらい前～

1

岐宿では火山が噴火してマグマが流れ出しました。そのマグマが川の流れをふさいでしまします。



2

どこにも行けなくなった川の水は今の山内盆地にどんどん溜まり、湖(山内湖)ができました。湖に注ぎ込む川の流れはゆっくりでしたので、大きな石ではなく、粘土のような小さな粒が湖の底にたまりました。粘土は小さな粒なので、粒と粒の隙間も小さく、そのため水が地下に流れていきにくい、水がたまりやすい土地ができました。



3

そのうち、湖の水がいっぱいになってくると、低い所を伝って流れ出していきます。水がすっかり抜けてしまった山内盆地は、お米作りに最適な栄養たっぷりな土壌になりました。



ちなみに山内盆地では、当時、湖や湿地だった証拠として、アシやイネのクキや根のまわりに集まった鉄である「高師小僧」というものや、葉っぱの化石などがみついているんですよ。

そしてこの辺りは父ヶ岳やセツ岳といった山々に囲まれているため、水が豊富にあります。この山々を構成するのは「花崗岩(かこうがん)」と言い、この花崗岩は米作りに大きく2つ関わっているんです。

1つ目！

花崗岩を構成する透明・白・黒の粒は、それぞれ石英・長石・黒雲母などと呼ばれるもので、水が山の中でろ過される結果、ミネラルが多すぎず、日本人の口に合う「軟水」となります。

2つ目！

花崗岩を構成する粒はぼろぼろととれやすく、他の岩石より崩れやすい特徴があります。この時できたものをマサ土と呼びます。山からたくさん土砂(マサ土)が運ばれることで、田んぼを作りやすい土となるんです。



まとめ！

花崗岩質の山で囲まれているおかげで、お米作りに適した土と、美味しい水がで、それに山内特有の寒暖の差が合わさって、山内では美味しいお米が採れるんですね！ユーチューブでもっと詳しく説明しています。QRコードを読み込めば見れますよ～



●みんなのページ●

地域のなんでも掲示板



お知らせやお願い、募集、情報など、なんでもかんでものページです！



鯉のぼりをゆずっていただけませんか？

今年度も、魚津ヶ崎公園ステージ前に、鯉のぼりを泳がせたいと思っています。この鯉のぼりは、全てが住民さんからいただいたものなのですが、魚津ヶ崎は海のそばなので、潮風が強く吹きます。1シーズンでかなりぼろぼろになってしまい、年々数が減ってきています。もしご自宅に、眠っている鯉のぼりがありましたら、寄付していただくと大変助かります。ご連絡いただけたら、お引き取りにも伺いますので、よろしくお願いします。
(問) 岐宿支所 担当：泉井／82-1117



魚津ヶ崎菜の花まつり3年振りに開催！

令和4年4月10日(日)、3年振りとなる「菜の花まつり」が、魚津ヶ崎公園にて開催されます！この2年、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、菜の花まつりのみならず、他の花まつりも軒並み中止になっていたもので、魚津ヶ崎公園の賑わいがやっと戻ってきて嬉しいですね！菜の花もきっと黄色の絨毯のように咲き誇ってくれると思います。ステージイベントは、産業祭で初披露した、「鬼神太鼓」の演舞と、こちらも久しぶりの登場、「岐宿ランチャーズ」の演奏が披露されます！出店もたくさんありますので、皆さん、感染対策万全でぜひお越しくださいね～

● 日時：令和4年4月10日(日)10:00～14:00



民泊家庭を募集しています！

五島市では体験型観光を推進しており、全国の修学旅行生を受入れています。(現在は新型コロナの影響で稼働できていませんが...)民泊事業は平成27年度から本格的に受入を始めて8年目を迎えますが、岐宿地区も民泊家庭の高齢化が進み、受け入れ数に対し、対応できるだけの民泊家庭が不足している状況です！！民泊をしたいなあ～興味はあるけどなあ～でも大変そうだし・・・と感じの方、ぜひ一度、お話だけでも聞いてみませんか？お気軽におたずね下さい。

(問)体験交流協議会事務局(岐宿支所内)／82-1117

編集後記

皆さんこんにちは。いよいよ令和4年度がスタートしました！新学期、新生活など、「新」があふれる季節ですね。新年度こそ、コロナが終息し、皆さんに平和な日々が訪れますように・・・今年度もよろしくお願いします。最後まで読んでいただきありがとうございます。

集落支援員 泉井 美由紀



空き家を探しています！

家は人が住まなくなるとどんどん劣化して行き、危険空き家となってしまいます。岐宿町の人口が増え、家も喜ぶなんていい事尽くしじゃないですか？これを機にぜひ空き家バンクへの登録をご検討ください！また、空き家改修補助金の制度もありますので、リフォームをご希望の方も、お気軽にお問合せ下さい。
※空き家バンクを利用して移住してきた方には、町内会への加入や地域行事への参加をお願いしています。
(問)五島市岐宿支所／82-1117

